

科目	臨床心理学実習Ⅱ（心A）	単位数	2
担当教員	三田村 仰、大西 見也子		
履修対象	臨床心理学科2年秋学期		
目的	臨床心理学実習Ⅰでは、学派や技法を超えて心理面接において求められる基本的な姿勢や態度について学んだと思います。 臨床心理学実習Ⅱでは、基本的な姿勢を基盤としながら、各学派において提唱され有用とされてきた心理的援助技法の中から、認知行動療法等の心理的援助技法を取り上げて、オムニバス形式で実習を行います。		
達成目標	「態度・関心・意欲」 （1）現代社会におけるこころの問題に対して、より具体的な心理援助について考えようとする姿勢を養う。 「思考・判断」 （1）多種多様な心理的問題を理論的枠組みを用いて理解し、援助の方向性を考える力をつける。 「技能・表現」 （1）こころの問題に対して、心理学論に基づいた心理的援助技法を用いた援助のあり方を考える力を高める。 「知識・理解」 （1）認知行動療法等の心理援助技法を体験を通して身につける。		
授業計画			
1	オリエンテーション/授業概要:心理的援助について進め方の説明（担当:三田村・大西）		
2	アサーションとは（担当:三田村）		
3	上手に断る（担当:三田村）		
4	上手に頼む（担当:三田村）		
5	ありがとうと褒め言葉を使う（担当:三田村）		
6	誤解を解く、反対意見を言う（担当:三田村）		
7	難しい対人場面での対応を工夫する（担当:三田村）		
8	まとめ/授業前半の振り返り（担当:三田村）		
9	ロール・プレイ①「いじめ」の事例をもとに、クライアントの感情に耳を傾ける体験をします（担当:大西）		
10	臨床心理学的面接の基礎①知識と技法を学び、クライアントのこころの状態を理解します（担当:大西）		
11	ロール・プレイ②「虐待」の事例をもとに、クライアントの感情に耳を傾け、理解する体験をします（担当:大西）		
12	臨床心理学的面接の基礎②面接のプロセスについて学びます（担当:大西）		
13	ロール・プレイ③「不登校」の事例をもとに、理解したことをクライアントに伝える体験をします（担当:大西）		
14	ロール・プレイ④「発達障害」の事例をもとに「今、ここでhere&now」をクライアントに伝える体験をします（担当:大西）		
15	臨床心理学的面接の振り返り（担当:大西）		
授業形態／具体的な内容	実習形式（ワーク、ロールプレイ、ディスカッション）を中心に行う。		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
参考書	授業の中で、適宜紹介する。		
成績評価の基準・方法	学習意欲、受講態度、提出物などにより総合的に評価する。		
留意点	実習中心であるため、無断欠席、遅刻は厳禁。また、受講生には積極的な参加が求められる。		
準備学習	普段から新聞やテレビで報道されている社会的問題に意識を向けて、どのような援助・介入が可能かを考えるようにしましょう。記事をスクラップしておくのもいいかもしれません。		
備考	適宜、資料を配布する。		No. PY422004